

平成 26 年度第 5 回 流山市環境審議会 議事録

平成 26 年 12 月 22 日（月） 13 時 30 分開会 14 時 45 分閉会

出席委員：

新保國弘会長、赤坂郁美副会長、朽津和幸委員、吉永明弘委員、和田まつゑ委員、村越弘行委員、秋元五郎委員、佐藤明委員、中大路早智江委員、中村貴代美委員、和田登志子委員

事務局：

飯泉環境部長、南雲環境部次長兼クリーンセンター長、染谷環境政策・放射能対策課長  
齊藤課長補佐、片浦環境政策係長、伊原環境保全係長、遠藤主査

リジオナル・プランニング・チーム（コンサルタント）1 名

傍聴者 1 名

1. 第 2 次環境基本計画素案のパブリックコメント手続き実施結果について
2. 計画書表紙及び概要版の検討について
3. 今後の日程について

【第 2 次環境基本計画素案のパブリックコメント手続き実施結果について】

発言者	要旨
事務局	（パブリックコメント手続き実施結果の報告）
委員	24 頁の（2）ストップ温暖化！流山市役所率先実行計画の温室効果ガスに関して、ハイドロフルオロカーボンの他の代替フロンに記載がない。それら他のガスも記載するか、もしくは代替フロンと記載してはどうか。
事務局	同計画では、代替フロンのうちハイドロフルオロカーボンのみが対象である。
委員	一般的には他のガスもあるということについて、誤解のないよう但し書きがあるとよい。
委員	パブリックコメントの状況からみて市民の要望はもっとあると思われる。計画の修正はここまでが限度と思われるが、今後は市民への説明をもっと丁寧にしていく必要がある。例えば大堀川プロジェクトの役割分担を詳しく知りたいというような要望に応じてほしい。
事務局	来年度の個別実行計画の見直しにおいては、ご指摘の点に注意して進めていく。
委員	温室効果ガス排出量の公表時期が遅いという意見があるが、市独自の速報値のような形で環境省への報告や公表を早めることは出来ないか。また、環境省から推計結果への指摘等はあるのか。
事務局	国の統計を使って算出するため 2 年程の遅れが生じるが、それを早めることは難しい。環境省への報告は制度上行われておらず、環境省が指摘等を行うこともない。
委員	そのあたりの事情が読み取れるコメントをされたほうがよいと思う。
委員	オオタカの扱いについては策定過程でもパブリックコメントでも色々な意見があったことを踏まえると、オオタカがすむ環境とはどういうものかについて、もう少し詳しい説明がほしいと思う。
事務局	現段階での内容修正は手続き上難しいと考える。
委員	オオタカについては部会、審議会での議論の結果なので、修正の必要はないと思う。
委員	今後において、オオタカについての詳しい説明の機会を確保されたい。
事務局	来年度の個別実行計画の見直し時にご指摘を反映していくようにしたい。
副会長	手続き上、どこまで修正が可能なのか。
事務局	すでに公表を行っているものなので内容の修正は難しい段階である。パブリックコメントに関しては報告と質疑応答であることをご了承いただきたい。

【計画書表紙及び概要版の検討について】

発言者	要旨
事務局	(計画書表紙及び概要版の検討方法と例示資料について説明)
会長	表紙と概要版、子ども版の検討を、審議会で行うか、部会的な場を設けて行うかについて意見をうかがいたい。3月にできあがることが求められる。
委員	この子ども版は良いと思う。市民団体の活動で利用する場合はいただけるのか。
事務局	印刷部数が限られており、印刷物の配布は難しい。原稿データを提供し、各利用者がコピーすることを想定している。年1回小学4年生を対象に行うクリーンセンター見学会では配布を考えている。
委員	白黒でコピーした時のイメージが知りたいので、そのような資料はないか。
事務局	(白黒の見本を提供)
委員	この内容であれば審議会での意見交換で十分と思う。
会長	頁数が少なく、計画内容と読みやすさを踏まえれば、大きく変えようがないと思われる。時間にも制約がある。
事務局	例えば、本日の例示案について事務局へ意見を寄せていただき、それらに基づいた案を審議会に提示し、メールでのやりとりも活用して完成させるという流れも考えられる。あるいは、部会的な場を設けて議論していただくことも考えられる。皆様のご意見により、事務局としてはどちらの形にも対応していく。
委員	単価を下げて部数を増やす方法はあるか。
事務局	委託契約で仕様と部数が決まっているため、増刷は難しい。契約では計画書が50部、概要版が50部で、子ども版は印刷を想定していない。
会長	表紙と概要版、子ども版の検討を審議会で行うことでよろしいか。
(全員)	(賛同)
会長	各委員は1月9日までに事務局へ意見を出し、事務局はそれらを整理、反映した案を次回審議会に提示する日程でどうか。
(全員)	(賛同)
事務局	表紙の例示案で、便宜上白地に組み写真のものを1番、円で構成したものを2番、四角で構成したものを3番とする。太陽光パネルの写真は第二庁舎屋上のものに差し替える。
会長	パソコンでの作業がしやすいようにPDF形式のファイルも送っていただきたい。写真に関しては場所・場面の説明も必要である。
委員	文章表現に関する意見にも応じられるのか。
事務局	計画を踏まえた内容が前提であるが、文面やレイアウトも含めて検討していただきたい。
委員	色合いなどに関して、費用面の制限はあるのか。
事務局	(契約の仕様で) これらは全面カラー印刷を想定しており、その範囲での制限はない。

【今後のスケジュールについて】

発言者	要旨
事務局	<p>以下を説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回の審議会は平成27年1月26日13時半開会を予定している。</li> <li>・ 表紙及び概要版に関する意見は1月9日までにいただき、メール等で調整を図り、次回審議会の事前に案を示す。</li> <li>・ 審議会での進捗によって、2月の審議会開催を検討、調整する。</li> <li>・ 3月23日の週に今年度最後の審議会を開催する方向で日程調整を行う。審議内容は計画書及び概要版完成の報告、次年度の個別実行計画改定の説明、路上喫煙及びポイ捨て防止重点区域の新たな指定に関する意見交換を予定している。</li> </ul>